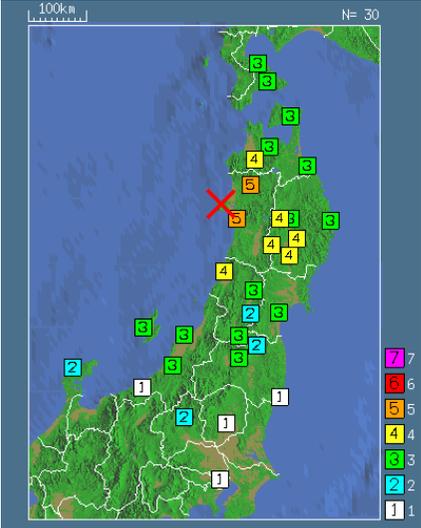
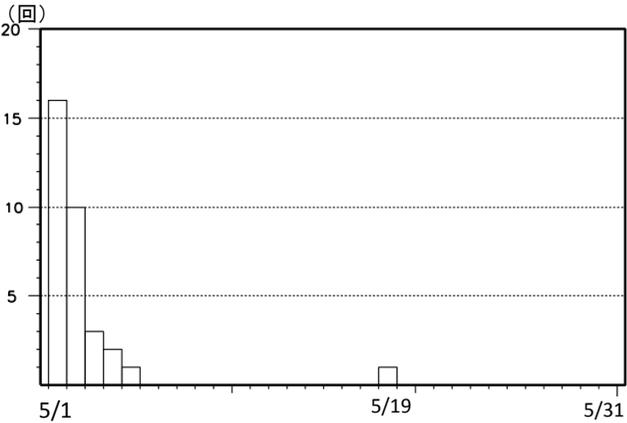


1939年(昭和14年)5月1日の秋田県沿岸北部の地震(男鹿地震)による災害

発生日時		1939年(昭和14年)5月1日 14時58分		資料	
震央地名 地域(名称)		秋田県沿岸北部(北緯39° 56.75'、東経139° 47.17')			
震源の深さ		0km			
地震の規模 (マグニチュード:M)		6.8			
県内の震度		震度5: 秋田市、北秋田市			
災害発生市町村		能代市、秋田市、男鹿市			
地震概要		<p>5月1日14時58分、男鹿半島付近のごく浅いところでM6.8の地震が発生し、秋田市、北秋田市で震度5を観測したほか、北海道から関東、北陸地方にかけての広い範囲で震度4~1を観測した。この地震の2分後にM6.7の最大余震が発生し、秋田市、北秋田市で震度5を観測するなど、一時的に余震活動が活発化した。</p>			
被害概要		<p>男鹿半島頸部に被害。集落によっては全滅したところもある。家屋全潰率が40%以上のところは砂地が多い。水平移動した家も多く移動量は40cmに及ぶものもあった。北浦町(現在の男鹿市北浦)では海岸に沿って約1kmの長さの土地が海に向かってすべり、同地域内の約50戸がすべて全潰した。寒風山の山麓には地すべりを生じ、潟西(五明光・釜谷地間(現在の男鹿市野石))でも地割れがあり、この付近は土地が沈降した。男鹿半島の北西部は隆起した。また、苗代の被害が強震地域に見られた。</p> <p>(最新版 日本被害地震総覧 による)</p>			
				 <p>震度1以上を観測した地震の日別回数グラフ (本震を含む、1939年5月1日~5月31日)</p>	

